

開かれた議会へ 市民と対話の場

— 4会場で52人が参加 —



八幡平市議会は昨年11月21・22日の両日、議会報告会「議員と語る会」を開催しました。市内4会場で開かれた議員と語る会には、市民延べ52人が参加。議員自らが市民に直接、平成26年第3回定例会などの議会活動を報告したほか、市民と市政や市議会などに対する意見交換を行いました。ここでは、議員と語る会で寄せられた主な意見・要望などを紹介します。



議員が3班に分かれ、市政や市議会について市民と意見交換しました（荒屋コミュニティセンター、2班・昨年11月21日）



南寄木集落センター
(1班・昨年11月21日)

1班 ● 11月21日 ● 南寄木集落 センター

■ 参加者 8人

■ 大和ロイヤルシティの分譲地周辺の防災無線が聞こえない。何らかの対策を取ってほしい。

◆市の回答(対応方針)

今後予定される防災無線のデジタル化のときに屋外拡声子局設置を検討する。その間は、広報車による巡回広報などで対応したい。

■ 医療費の無料化を中学生までにしてほしい。

■ 防災対策について再検討が必要ではないか。

■ 議会改革特別委員会設置の目的は何か。

■ 「回答」市民に開かれた議会を目指し、議会基本条例策定などを検討するためである。

1班 ● 11月22日 ● 大更コミュニティ センター

■ 参加者 16人

■ 都市計画道路大更駅前線の工事はいつから始まるか。

◆市の回答(対応方針)

28年度の着手を目指したい。

■ ひまわりニュータウンと市道大更西線を結ぶ道路工事はいつやるか。

◆市の回答(対応方針)

道路の利用状況などを見極めながら検討する。

■ 総合計画後期基本計画の中の公園整備に大更の鎮守の森はあるか。

◆市の回答(対応方針)

八坂児童遊園の維持管理は行っているが、公園整備、設置は計画していない。



大更コミュニティセンター
(1班・昨年11月22日)

■ 八幡平温泉郷活性化のための対策を講じてほしい。

■ 市民の民意の捉え方を議員はきめ細かくやってほしい。

2班 ● 11月21日 ● 荒屋コミュニティ センター

■ 参加者 19人

■ 荒屋コミュニティセンターの雨漏りがひどい。改修を要望しているがどうなったか。

◆市の回答(対応方針)

原因箇所が不明なことから、27年度に調査設計を予定している。

■ 地元企業への利子補給制度をもっと大きな額で支援できないか。

◆市の回答(対応方針)

昨年7月から設備資金と運転資金・設備資金併用での限度額を2000万円から3750万円に引き上げたところである。

■ テレビ難視聴の共聴施設を光回線に移行する工事で、市の補助はどのようにになっているか。

◆市の回答(対応方針)

NHK共聴施設は、NHKが20年以上経過したものから順次移行工事を進めている。市でも老朽化更新に対し、補助できるよう予算の確保などを行い対応していく。

■ 欠の山付近の国道282号のバイパス工事を早く着工してほしい。

◆市の回答(対応方針)

事業の具体化は難しいことから、市では小屋の畑付近から五日市地区までを市道鴨志田線などを経て迂回路の機能を持つ路線の整備を計画している。

■ 公共施設の利用状況を正確につかんでいないのではないかと。

■ 地区内のお店が減り、高齢者の買い物が大変である。行政で食料などの販売カーができないか。

■ 大更駅周辺のぎわいづくり、議会として何か提案しているのか。

3班 ● 11月21日 ● 寺田コミュニティ センター

■ 参加者 9人

■ 25年度西根病院事業会計で収入に対し、支出が上回った理由は。

◆市の回答(対応方針)

院長が退職したことや、常勤医師が1人減の状態が継続したことが主な要因と考える。

■ 西根病院を移転する話があるが、現在の西根病院の跡地利用計画は。

◆市の回答(対応方針)

医療福祉関係の施設として利活用が図られるよう検討している。



寺田コミュニティセンター
(3班・昨年11月21日)

■ 市内の花輪線全ての駅のバリアフリー化を進めるべきではないか。

■ 人口減少について議会と行政で論議してほしい。

■ 議員定数削減を真剣にやってみてほしい。

議員と語る会に参加いただき ありがとうございました

各会場の実施報告書や参加者のアンケート結果、要望・提言などに対する市の回答(対応方針)の全文など、議員と語る会について詳しくは、八幡平市議会のホームページに掲載しています。

<http://www.city.hachimantai.lg.jp/>